

第 87 回伸線技術分科会 並びに 第 177 回運営委員会開催のご案内

拝啓 貴社益々ご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度、第 87 回伸線技術分科会並びに第 177 回運営委員会を下記により開催致します。
つきましてはご多忙のところ誠に恐縮に存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますよう
ご案内申し上げます。

敬具

記

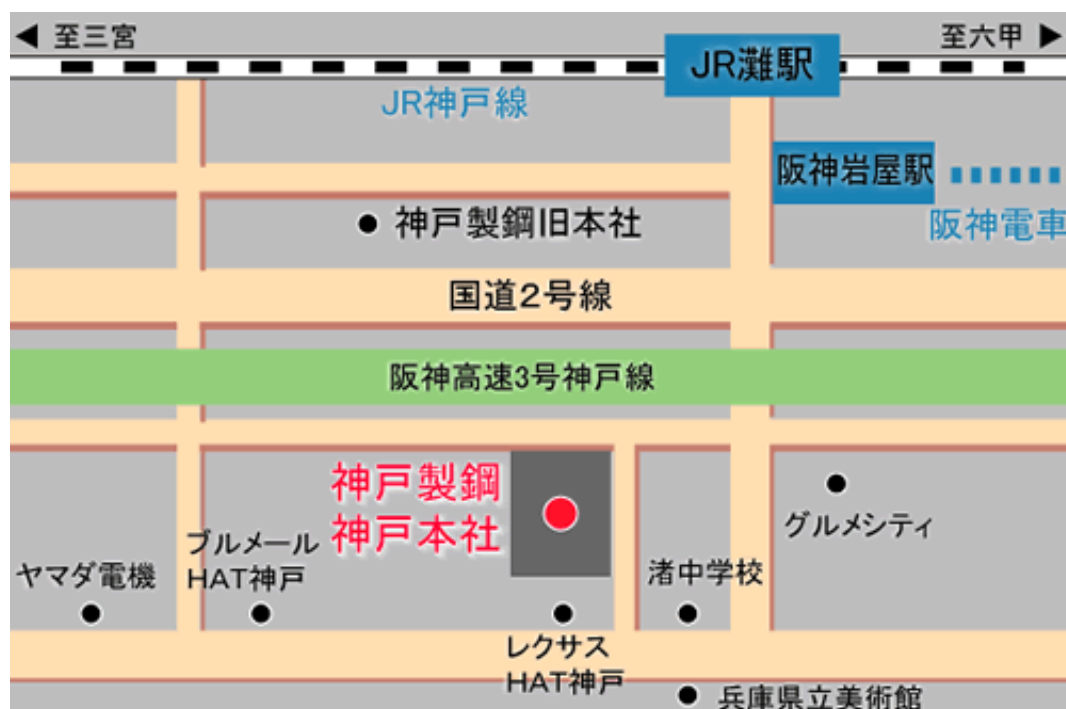
1. 日時 : 2019 年 11 月 22 日 (金) 10:30～16:40 伸線技術分科会
(12:10～13:40 運営委員会)
2. 場所 : 株式会社神戸製鋼所 神戸本社
兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4 (別紙-1 参照)
(1)伸線技術分科会 : 5 階 501、502、503、504 会議室
(2)運営委員会 : 5 階 505 会議室
3. スケジュール : 第 87 回伸線技術分科会プログラムをご参照ください。 (別紙-2 参照)
4. 参加費用 : 参加費 : 3,000 円を当日入場時に受付に納入願います。
(発表者、及び学生は無料)
5. 参加申込期日 : 運営準備の都合上、分科会および運営委員会へのご出席の有無を
11 月 6 日 (水) までに別紙-3 の参加申込票にてお申し込み下さい。
6. 申込先 : お申し込みは下記へ郵送、FAX あるいは E-mail にてお願い致します。

〒657-0863 兵庫県神戸市灘区灘浜東町 2
株式会社神戸製鋼所 鉄鋼事業部門 技術開発センター
線材条鋼開発部 線材条鋼開発室
竹田 敦彦 宛
FAX : 078-882-8215
TEL : 078-882-8068
E-mail : takeda.atsumiko@kobelco.com

その他、大会に関するお問い合わせは、竹田までお願いいたします。

第 87 回伸線技術分科会会場のご案内

・神戸本社案内図



〒651-8585

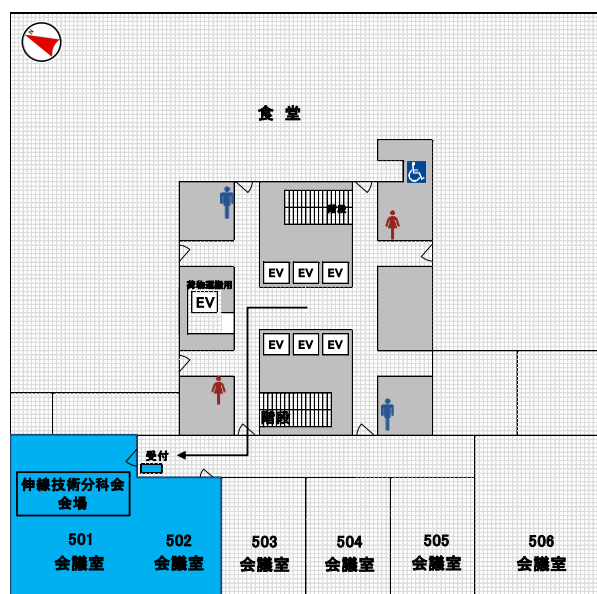
兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 2-2-4

TEL : 078-261-5111

【公共交通機関アクセス】

- ①新幹線新神戸駅からタクシーで約 15 分
- ②JR 灘駅から南へ徒歩約 15 分
- ③阪神電車岩屋駅から南へ徒歩約 10 分

・神戸本社 5 階案内図



・1 階受付でパースカードを受け取り、受付を通り過ぎたところにあるエレベーターで5階まで上がってください。受付では第 87 回伸線技術分科会出席とお伝えください。

・5 階に上がった後、左図のとおりお進みいただくと、伸線技術分科会の会場がありますので、入口前で受付をお願いいたします。

スケール特集

開 催 日 : 2019 年 11 月 22 日(金)

開 催 場 所 : 神戸製鋼所 神戸本社
5 階 501～504

開催事務担当 : (株)神戸製鋼所

時 間	内 容	著 者(○は講演者)	司 会 者
10:30～10:35	事務案内	(株)神戸製鋼所	JFE テクワイヤ (株) 丸山 俊明 殿
10:35～10:40	開会の辞	分科会主査 JFE スチール(株) 西村 公宏 殿	
10:40～11:40	【基礎講座】 「鋼へのスケール生成機構およびスケールの化学量論と機械的性質の関係」 鋼へのスケール生成は鉄損になり、また生成したスケールは表面品質の低下を招くため適切にデスケールする必要がある。ここではスケールの生成機構を解説し、主生成物であるウスタイトの化学量論に対する加熱雰囲気の影響と化学量論と機械的性質の関係について報告する。	室蘭工業大学 ○佐伯 功 殿	
11:40～12:10	【スケール／鋼界面での凹凸生成に及ぼすスケール構造の影響】 高温で鋼材表面に生成するスケールは鉄鋼製品の表面疵の原因となる場合がある。スケール／界面に深い凹凸が形成されると線状の表面疵が発生する。これまでに Ni や Si 等の合金元素が界面凹凸の生成に関与していることが報告されている。今回、燃焼加熱により鋼材を酸化させる場合に、スケール構造の違いに起因してスケール／鋼界面に深い凹凸が形成される場合があることを知見し、そのメカニズムと対策について検討する。	日本製鉄(株) ○近藤 泰光 殿	
12:10～13:30	昼食 第 177 回運営委員会 505 会議室 (同フロア)		
13:30～13:40	総会		
13:40～14:30	【招待講演】 「最近の熱処理：窒素を活用した高機能熱処理とその特性」 近年、炭素とは異なる窒素の鋼への影響が明らかにされつつあり、窒素を利用した鋼の熱処理の研究開発が活発化している。本講演では、酸化を伴う新しい塩浴軟窒化法、窒化ポテンシャルを制御し窒化組織を最適化するガス窒化とその後焼入れする浸窒焼入れ、そして減圧浸炭窒化や窒素イオン注入によって得られる組織と特徴ある機能のいくつかを紹介する。	日本パーカライズ ング(株) ○渡邊 陽一 殿	ADEKA ケミカルサブ ライ(株) 本間 正敏 殿
14:30～15:00	【スケール密着性の評価と応力発生挙動の測定】 鋼材の熱間製造プロセスにおいて、スケール剥離などの表面品質不良を抑制するためには、スケールの密着性を把握することが重要である。スケールには冷却に伴い蓄積する残留応力や鋼材の変形による応力が発生し、密着性に影響すると考えられる。そこで、引張試験を用いて応力負荷環境でのスケール密着性を定量評価した結果と、in situ XRD により残留応力発生挙動を測定した結果を報告する。	(株)神戸製鋼所 ★○山田遥平殿 佐々木 康二 殿	
15:00～15:30	【バーインコイル (BIC) 脱スケール性向上】 引き抜き工程での脱スケール性向上を目的として、バーインコイルの製造条件と、スケール生成挙動、圧延後のマイクロ組織などとの関係を調査した。棒線圧延前素材のピーリング (表層全長切削) 適用や製品圧延後水冷による低温巻取り化の脱スケール性への効果などについて報告する。	JFE スチール(株) ★○阿相秀明殿 岩本 隆 殿 山上 大作 殿	
15:30～15:40	休 憩		
15:40～16:10	【潤滑剤特性の伸線品質に及ぼす影響】 伸線潤滑剤の特性 (石鹼量、軟化温度他) が伸線品質 (外観、表面性状他) へ及ぼす基本的な挙動を調査／評価し、それらを応用した製品用途に応じた伸線表面性状を得るための伸線条件／手法 (潤滑剤、ダイス他) について報告する。	JFE テクワイヤ(株) ★○竹縄直幸殿 丸山 俊明 殿	(株)神戸製鋼所 竹田 敦彦 殿
16:10～16:30	【文献紹介】 2019 年度上半期 (伸線、引抜管に関して)	関西大学 ○齋藤 賢一 殿	
16:30～16:40	奨励賞発表、及び授賞式 閉会の辞	分科会主査, 直屬幹事	

★：奨励賞対象

FAX : 078-882-8215

E-mail : takeda.atsuhiko@kobelco.com

株式会社神戸製鋼所 技術開発センター 線材条鋼開発部 線材条鋼開発室

竹田 敦彦 宛

申 込 票

〔 申込期日 : 11 月 6 日 (水) までに、参加可否に関わらずご連絡をお願いします。〕

参加者の追加、変更、キャンセルは 11 月 15 日 (金) までにお願いします。 〕

(1) 申込代表者

所 属 学校名・会社名等	申 込 者 名	部 署 名	役職	電 話 番 号 E-mail アドレス

(2) 出席者の出欠明細 (ご出席の場合は○、ご欠席の場合は×をご記入下さい)

No	出席者氏名	部署名	役職	出席明細 (○・×を記入)	
				伸線技術 分科会	運営 委員会
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注) 郵送の場合 : 〒657-0863 兵庫県神戸市灘区灘浜東町 2

株式会社神戸製鋼所 技術開発センター 線材条鋼開発部 線材条鋼開発室

竹田 敦彦 宛

出席者が 7 名以上の場合、本紙 2 枚をご使用下さい。